

みんなの もうひとつの おうち

No.13

2012.3.1

興道東部保育園

米沢市下花沢3丁目10番9号

TEL 0238-23-6624



ともに

園長 窪 泰道

この新しい場所、新しい園舎で保育が始まってから早いもので10ヶ月が過ぎようとしています。場所や環境が変わって、子どもたちは保育園での生活を落ち着いて送ることができるだろうか、大丈夫だろうかなどと心配したことをよそに、子どもたちは元気に生活しています。

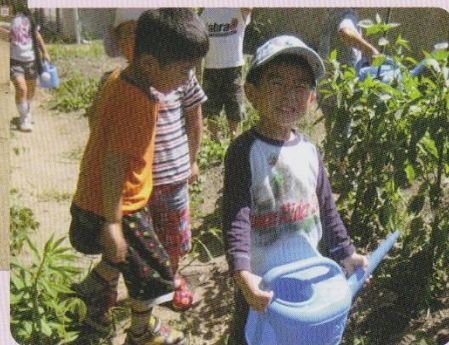
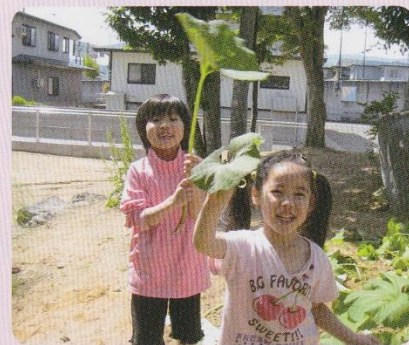
園内研修等で初めて来園された講師の方々も「子どもたちが生き生きしていますね」「家庭的な雰囲気ですね」といった言葉を頂戴していますし、地域の方々には「子どもたちの元気な声が聞こえて良いですね」「子どもたちの散歩の時に声をかけてもらいました」という言葉を頂戴しています。この言葉は旧園舎の時からも頂いてきた嬉しい言葉でもあり、保護者の方々、地域の方々の、ご協力があつての言葉だと受け止めています。今まで培ってきた保育を大事にしながら、更に、目標を高く掲げ保育に臨んで行きたいと思っていますし、子どもたちだけでなく、保護者の方々、地域の方々までもホッとするような保育園でありたいと思いますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。



春をたくさん見つけたよ

長かった冬が終わり、暖かい日差しがふりそそぐ春。保育園の園庭は様々な春の訪れを感じさせてくれます。もこちゃん山には、ワラビが自生し、木々には野鳥がとまいます。園庭南にある竹林では、たけのこを掘りだし、お釈迦さまにお供えします。小さな手を合わせ、春の恵みに感謝です。このたけのこを使って、春の味覚のたけのこごはんをみんなでおいしくいただきました。

また、東部農園と名付けられた畑があります。毎日水をかけ「葉っぱが出た」「おおきくなった」「花が咲いたよ」と成長の変化に関心を持ちながら世話をしました。北村公園や河川敷まで散歩に出かけ、桜の花を満喫した子どもたちです。



いっぱい走って楽しいよ

広い園庭で、サッカーをしたり、おにごっこをしたり、全力で走りまわる子どもたちのすがすがしい姿が、さわやかな新年度のはじまりでした。



みんな集まれ 夏祭り

保護者の協力のもと、新園舎で夕涼み会を行いました。おみこし担ぎでは、子どもたちの元気な掛け声が六部地区に響き、声援を頂いたり、家族・ご近所の皆様・卒園児と一緒に夜店や花火を楽しみました。子どもたちが主役の夏祭りは、地域の方や家族同士のふれあいの場となり、園児はうれしい楽しい日になりました。



わーきもちいい 新しいプール大きいね！

園庭に新しいプールが完成。大きなプールに大興奮の子どもたち。ワニ歩きや水の中のトンネルくぐりなど全員で水あそびを楽しみました。水から上がるとおなかはぺこぺこ。給食をもりもり食べておなかいっぱい大満足でした。プール納めはどじょう掘り大会。追いかけて捕まえようとする姿は真剣そのもの。250匹のどじょうを全園児で捕まえてフライにして食べました。



新園舎での
たのしい
一年間！

秋

たのしかった運動会

新しい園舎の園庭で行われた運動会は、0歳児から参加の一人ひとりが主役の運動会です。紅白のキャプテンが力強い選手宣誓で競技スタート、50mを力いっぱいかけっこ、みんなで力を合わせて玉入れ、子どもをタイヤに乗せて親が引っ張る親子リレー、迫力ある保護者のつなひき、小学生のアメ食い競争、祖父母競技とご家族がみんなで楽しんだ運動会でした。



きれいな葉っぱが降ってきた

園庭には「ひろちゃん山」「もこちゃん山」の2つの山があります。秋になるとその山にあるたくさんの木々が赤や黄色に色づきはじめ、風に吹かれて舞い落ちます。この葉をつかまえようとしたり、落ち葉の中でサッカーをしたり、落ち葉の下に隠れている虫を探したりしてあそんでいる子どもたちは、秋の自然をからだいっぱい感じてあそんでいます。



新園舎での発表会

昨年までは東部コミュニティセンターを借りて発表会を行っていましたが、今年度は新園舎の遊戯室で行いました。遊戯室の天井は吹き抜けて開放感があり、床暖房も効き、とても暖かく、素敵なステージでの発表に見ている子も発表する子も安心して発表会を楽しむ姿がありました。2階からも観覧することができ、たくさんの拍手をもらった子どもたちは、笑顔と自信に満ち溢れ、また一つ東部保育園で大きくなりました。

そりすべり

園庭にできた大きな雪山に登って遊ぶのが楽しい子どもたちは、そりを抱えて1番上まで登ると、いっせいにすべりおります。すべっては、またそりを抱えて、雪山の頂上を目指します。友だちと一緒にそりすべりを満喫している雪国米沢の子どもたちです。



近所の方にインタビュー

平成23年度3月より東部保育園が六部地区に移転してきて、新築1年になろうとしています。そこで近所の方に保育園が出来ての印象をお聞きしました。

太田 幸夫さん・かつさん

夏の間はお互いに窓を開けているため、子どもたちの元気な声が聞こえていたが、冬になると全然聞こえなくて、寂しく思っています。子どもたちの声を聞くことが、私たちの楽しみなんです。お客様が来て「子どもたちの声が聞けるっていいね」といつも羨ましがられます。子どもたちから「おじいちゃん、おじいちゃん」とかわいいうちで呼んでもらえるのが嬉しくて、子どもたちが外で遊んでいるとわかるので、つい外に出ていってしまいます。庭の大きな石に登ったり、木に登って喜んでいて、子どもたちの姿を見て、私達も元気パワーをもらっています。また、給食室からおいしそうな匂いが漂ってくると「今日のメニューはコロッケかな？」などと考えるのも楽しみの一つになっています。



ブルーム 石田 ちよ子さん

子どもたちの元気な声が聞こえてくると、みんなで窓からながめて楽しませてもらっています。運動会練習で一生懸命練習する姿をみて、応援したくなりました。

佐藤 美貴子さん

おみこし行列はみんな笑顔でとってもかわいかったです。子どもたちが散歩していると窓からその姿をいつも見えています。

大友 成雄さん シゲさん

子どもたちが散歩に来るのをいつも楽しみにしています。子どもたちと触れ合い、子どもたちの喜ぶ顔を見ることが楽しみにしています。自作のお面を見ず。子どもとの繋がりを通して返った気持ちになります。また、おみこしや花火、運動会などの行事をたです。また行きたいと思います。



きよか酒店 金子 勝則さん

祖母は自分の孫の子育てのことを思い出しながら夕涼み会などのイベントごとに顔出しに行っていたようです。運動会の練習の姿を見て元気いっぱいな子どもたちだなぁーと思いました。



大木 ちえみさん

運動会の練習が始まると、私も外に出かけ手押し車に腰掛け見えています。元気な子どもたちで加させていただきます。盆踊りがとってもかわいかったです。来年も楽しみにしています。



石附硝子株式会社 石附純美さん

いつも子どもたちの元気な声が聞こえてきて私達も元気が出ます。散歩している姿が微笑ましく、仕事中一息つくことができ、気持ちがなごみます。夕涼み会のおみこしも楽しみにしていました。とてもかわいらしかったです。

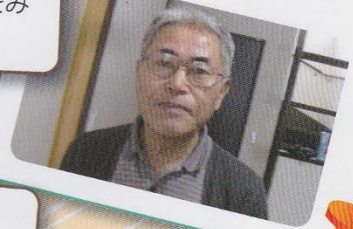


鈴木 穂さん

おみこし行列の姿がとってもかわいかったです。子どもたちの姿を見られることはいいものですね。

釜田 正春さん

内覧会で保育園を見せていただいた、とっても広い保育園でびっくりしました。広い中にも温かさのある保育園だと感じました。お散歩のときに元気な声で「こんにちば」と挨拶されると、とても嬉しい気持ちになります。外で遊んでいる声が聞こえると、今日も元気にあそんでいるなーと思います。

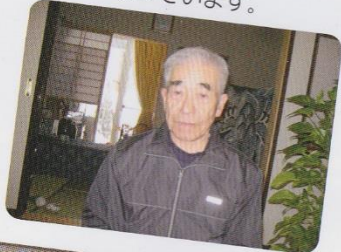


米原食堂 米原 明子さん

ももくみさんが誘導ロープを握って散歩する姿がとってもかわいいです。夕涼み会に声をかけていただき、孫と一緒に参加しました。花火もきれいで最終に楽しませてもらいました。とて後まで楽しませていただいているのだからとにもぎやかで何をしているのだろうと園庭を覗くと、モンテの方にサッカーを教わってもらっていた、その時の子どもたちの顔が本当に楽しんでいたように思います。

高橋 史朗さん

賑やかな声やむじゃきに遊んでいる姿、育っている姿を見て、私の方が力をもらっています。外にいくと、フェンス越しに子どもたちの方から声をかけてくれて嬉しく思います。子どもたちとの会話も楽しんでいます。



～ほんとうに嬉しいことは～ はなの会会長 本田公祐

昨夏、自転車で虚空蔵様沿いに新園舎へ迎えに行った時の事。すっかり取り壊された旧園舎跡地は何もなかったかのように綺麗に整地されていました。「こんなに狭かったんだなあ」旧園舎でお世話になった娘と声を揃えての印象でした。限られた環境の中で、より良い保育環境を作り出す努力を積み重ねて来られてきた先生方には改めて頭が下がります。

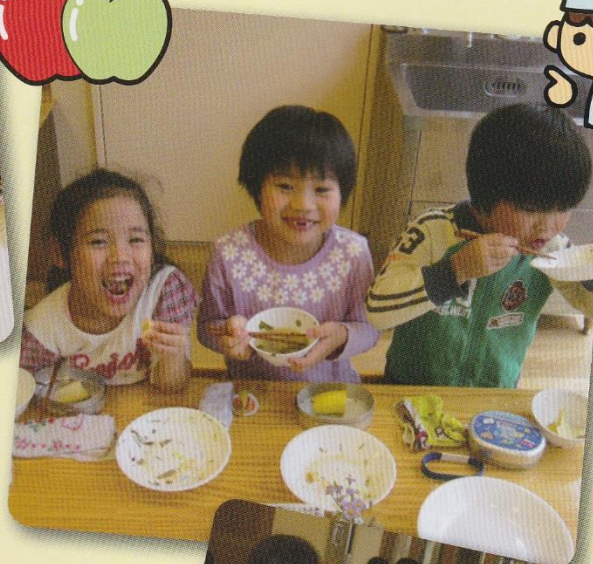
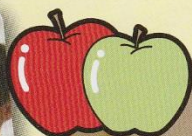
3.11 震災直後、激動の中での引越しからスタートした新園舎。早くも1年が経とうとしています。

「より良い保育環境を作り出すための積み重ねも、しっかり引越ししてくれた。」日々の生活や行事の中で感じる事が出来た1年でした。一人の保護者としては園舎が新しくなった事よりも嬉しい事でした。



おいしい顔の幸せの輪が広がるランチルーム

朝登園すると、お昼やおやつ献立のことを聞きにランチルームに来てくれる子どもたちの姿があります。また、ランチルームの隣に調理室があることで食事を作るところが見えたり美味しいにおいもしてくるので食事を楽しみにしている姿もあります。テーブルや椅子には郷土の食材の絵がデザインされていて食に関する親しみも湧き、友だちとさそいあって座ると楽しく食べています。さあ、今日もおいしい顔の幸せの輪が広がる東部保育園のランチルームです。



新園舎に他園の職員の皆さんが 視察に来られました その方々から感想を頂きましたので、 すべては掲載出来ませんがご紹介します

素晴らしい園舎だなと思いました。落ち着いた色合いで、ホールを中心として各部屋が設けられ、ランチルーム、玄関、ほふく階段、おばけの部屋など、本当に全ての所に、子どもたちへの思いを感じました。

部屋ごとに遊びが分かれているので、子どもは自由に好きな遊びを楽しむことが出来て楽しいと思いました。

給食室からランチルームで食べている様子が見えて良いと思った。子どもたちは、楽しくおしゃべりしながら、落ち着いて食べていて、とても良い雰囲気だった。

干し柿をつるして、季節の食べものが味わえて良いと思う。春は筍ご飯、夏はどじょう、夏から秋は畑の野菜を収穫して食べていることをお聞きして「食」がしっかりと生活の中に息づいていていいなあと思いました。

2階スペースも、いろいろ工夫されていて、子どもたちは遊ぶスペースが沢山あり楽しいだろうなあと思いました。

園舎内は先生方のアイデアや工夫がいたる所にあり、ホールで集まって紙芝居を見ていた子どもたちが、誰ひとりとして騒いでいる子どもさんが居ないことにも感心しました。

新しい園舎素敵ですね。とっても広くて、活動する部屋も沢山あり、ピアノも響いてとてもよく聞こえています。子どもたちも環境に恵まれていて幸せですね。

17人のゆり組さんみんな仲間だ！東部っ子！

ゆり組さんは保育園の年長児、園生活でリーダー的存在です。小さい組の子は、ゆり組さんの真似をしたり、手伝ってもらったりして、園生活をマスターしていきます。ケンカの言い分もゆり組さんに聞いてもらうと、いつの間にか仲良しになって遊んでいたります。ゆり組さんは魔法使いのようです。

ゆり組さん同士が意見の食い違いでケンカになると、仲裁する仲間は言い分を聞いたり、仲良しになるための案を出したり、納得するまで話し合いが続きます。お互いを仲間と認めているから、公平な立場で考えて意見を言ってあげられるのでしょう。

卒園を迎える今、東部保育園の仲間のひとりである自覚を持って小学校に進学してほしいと思います。

ピカピカの1年生になります。



編集後記

新園舎での1年間を振り返り、その様子を情報誌に掲載しました。保護者の皆様、ご近所の皆様に温かく見守られ、子どもたちは、のびのびと、快適に園生活を過ごしています。新東部保育園が皆様に未永く愛されて増々素晴らしい保育園になれるよう、皆様の真心をもって可愛がって頂きたいと思います。最後になりましたが、情報誌発行にあたり、原稿、写真等でご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。